

2016年度「研究者の横顔」 中西 真先生

1. 研究者になろうとしたきっかけ

小さい時から虫や魚などに興味があり、自然の中で遊ぶのが大好きでした。そのせいか、中・高時代は理科の実験が大好きで、将来研究者になることを夢見ていました。

2. 助成研究の内容紹介

がん細胞に恒久的な増殖停止状態（細胞老化）を誘導する技術を用いて、全く新しいコンセプトのがん治療法を開発することを目指しています。

3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

細胞老化は個体の加齢性変化や寿命にも関係しているため、高齢者に優しいがん治療のみならず健康寿命延長につながる技術の開発も期待できます。

4. 全国のRFL関係者に一言

本研究助成に採択していただき、心から感謝申し上げます。このチャンスを生かして、革新的ながん治療法の開発を目指してまいります。